

帰り道

年 組 番 氏名 ()

この物語は、「律」の視点から「1」と、「周也」の視点から書かれた「2」で構成された話です。それぞれの視点のちがいに着目して、教科書の全文を読み、課題ごとに考えたことをノートにまとめましょう。また、登場人物の心情が伝わるように、毎日音読をしましょう。

課題① 次の場面について、「律」と「周也」それぞれのとらえ方や心情を書いてまとめましょう。

場面	「律」	「周也」
「周也」が一人でしゃべり続けているとき		
昼休みの出来事		
二人ともだまりこんでしまったとき		
天気雨に降られたとき		
雨上がり、二人で歩き始めたとき		

課題② 「律」と「周也」はどのような人物なのか、次の視点で書きましょう。

視点	「律」	「周也」
「律」と「周也」、それぞれが思う自分自身。		
「律」から見た「周也」と「周也」から見た「律」。		
あなたから見た「律」と「周也」。		

課題③ 「律」と「周也」はそれぞれ、「言葉」や「言葉にすること」に対して、どのような思いや考えをもっているか書きましょう。

「律」	
「周也」	

課題④ この後、二人の関係はどのように変化すると思うか書きましょう。

--